

事業所名		放課後等児童デイサービスきらり				支援プログラム（参考様式）				作成日		2024 年		8 月		19 日			
法人（事業所）理念		【法人理念】目の前の人の未来を創るサポートをし、希望を実現する 【社訓】輝・楽・輪（き・ら・り）自分らしく輝いて・楽しく生きる・輪を広げよう																	
サービス提供方針		★個別支援を軸とした提供（1対1：マンツーマン）+α（小集団支援） ★3つの柱を重視した支援の提供 【心のサポート】1人ひとりの困り感に寄り添う【生きる力を育む】子どもの「自己実現」を目指し、社会で生きる力（自立する力）を育む 【キャリア形成】自分らしい進路選択																	
支援方針		子どもの「自己実現」を目指した社会で生きる力（自立する力）を育むことをモットーに、4つの力を豊かに育む支援を提供致します。																	
4つの力		①自分を大切に（自己管理能力）②チャレンジする（課題解決能力）③他者を大切に（社会適応能力）④自分らしくある（自己表現能力）																	
支援の流れ		①4つの力（生きる力）を基本とした独自のアセスメントシートの利用 ②フォーマルな各検査（知能検査等）やセラピーによる現状把握 ③①②のアセスメントから個に合わせたオリジナルな支援方針・計画を立て、2・7の支援手段とねらいをもとに支援提供を行う																	
営業時間		平日	13	時	0	分から	19	時	5	分まで	送迎実施の有無		あり	なし					
		支 援 内 容（例）																	
		支援手段・ねらい										具体例							
本人支援	健康・生活	【自立課題】様々な経験（作業、手伝い、買い物、趣味や余暇活動）やルールブックを通して、一般常識やマナー等の生活スキルを学ぶサポートをする。 【運動】一般的な身体運動・スポーツを経験する環境を提供する。 【セルフマネジメント】レジリエンスやアンガーマネジメント、ストレスケアの知識等を学べる機会を提供する。遊び、ヨガ、ストレッチなど、実際に身体と一緒に動かしてリラックスできる場を設ける。										・自立チェック一覧表を見てチェックし、自己管理していけるよう促す。 ・運動やストレッチ、ストレスケアを一緒にに行い、自宅でするようにする。 （領域）①健康状態の維持・改善②生活のリズムや生活習慣の形成 ③基本的な生活スキルの獲得							
	運動・感覚	【感覚・運動・視覚】行動を人（感覚面や運動面の特徴）・環境・作業の3つの視点から丁寧に分析し、子どもに必要な運動や作業を取り入れる。 【心理療法】あるがままに受容し（無条件の肯定的関心）、相手にとってどのような意味があるのかを考え（共感的な理解）、共感できるまで話を聞く（自己一致）										・本人の好きなことを通して身体を動かすことで、心と身体を発散させる。その中でルールを少しずつ提示し、受け入れられるようにする。 ・セラピーを通した心理的な支援の実施（専門的支援実施） （領域）①姿勢と運動・動作の向上 ②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ③保有する感覚の総合的な活用							
	認知・行動	【認知トレーニング】人や運動を通した基本的な関わりや、認知学習教材で学ぶ機会を提供する。 【自己理解】日々の振り返りや自己適正検査や自己発見ワーク、知能検査等、自己理解ができる機会を設ける。 【自己発見】自己発見ワークやきらりチャレンジ、イベント参加など、自己発見できる場を設ける。										・日々行ったメニューの中で、楽しかったことやできたこと、難しかったことを振り返る時間を設け、その中で自分に対する理解を深める。 ・パズルや迷路、ビジョントレーニング等を通して、学びの土台となる認知の土台を育む。 （領域）①認知の発達と行動の習得 ②空間・時間、数等の概念形成の習得 ③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得							
	言語コミュニケーション	【基礎学力】生活するために必要な基礎学力が身に付く、プリントやワーク、ダブレット学習などを提供をする。 【学校教育のサポート】宿題や課題等への取り組みを困り感を十分理解する。学習のつまずきがあり、学び方に工夫の必要な子や家庭学習の機会が確保しにくい子に対して、宿題や課題に安心して取り組める環境を作り、サポートする。										・ひらがな・カタカナプリントを活用し、文字を習得できるようにする。聞いた言葉や知っている言葉を書く等し、言葉と文字を一致させていく。 （領域）①言語の形成と活用 ②言語の受容及び表出 ③コミュニケーションの基礎的能力の向上							
	人間関係社会性	【SST】個別のロールプレイや1対1、小集団での遊びや会話、発表の機会を設ける。 【発表・チャレンジ活動】集団（や個人）でゴールに向けて計画し、1人1人が役割や責任を持って、自分の得意も苦手も挑戦していくことをサポートする。										・SSTワークやこんな時プリントを通して状況に応じた行動の仕方を学んでいく。相手の立場に立って考えられるようにケースで体験する。 （領域）①他者との関わり（人間関係）の形成 ②自己の理解と行動の調整 ③仲間づくりと集団への参加							
家族支援		・日常生活において、本人と保護者の意思を大切にしながら、親子関係・家庭生活を安定・充実させる援助を行う。（定期的な教育相談や保護者の会開催、ペアレントトレーニングに実施等）										移行支援		・本人のキャリア形成に対する必要な発達支援の提供を行う。 ・地域、社会（学校・企業連携）との関わりを通して共に成長し学び合える機会を作る。（各イベントやマルシェの開催、地域の祭りや職業体験への参加等のキャリアアップの機会の提供）					
地域支援・地域連携		各関連機関と連携し、役割分担を行うとともに、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。（主として教育機関や各地域担当SSWとの連携、不登校児支援等の個別サポートの実施）										職員の質の向上		・資質向上のために計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、支援員の目標設定による自己評価と能力評価を行う。 （定期的な内部研修、外部研修への参加、資格取得のための支援の実施等）					
主な行事等		（年間主要行事）職業体験（企業連携）、サマーコンサート、職業訓練校見学、地域夏祭り、職場体験（地域）、マルシェ開催、きらりコンサート、卒業セレモニー（定期開催） 自己表現イベント、琴支援、リトミック支援、親の会、ペアレントトレーニング																	